

六郷特別出張所管内	
人口	男32,081名
	女30,152名
	計62,233名
世帯数	27,570世帯
平成10年9月1日現在	

六郷わがまち

発行 わがまち大田
六郷地区推進委員会
編集 「六郷わがまち」編集委員会
事務局 大田区六郷特別出張所
〒144-0055
大田区仲六郷2-42-2
電話 03(3732)4885代

六郷地区市民消防隊一覧

町会名	結成年	消防隊長	電話	隊員数	性別	ポンプ機種
南六郷一丁目町会	平成10年	竹内昭信	3738-7531	12	男	D級1
南六郷二丁目町会	昭和63年	柳原恒雄	3733-4831	15(12 _男 3 _女)	男女	C級1 D級1
南六二団地自治会	平成5年	飯田達雄	3736-1359	10	男	C級1 D級1
南六郷三丁目町会	昭和51年	佐藤 登	3731-5669	15	男	C級1 D級1
東六郷一丁目町会	昭和48年	野地原造	3731-3831	17(14 _男 3 _女)	男女	C級1
東六郷二丁目町会	昭和48年	増渕三郎	3738-1835	12	男	C級1 D級2
東六郷三丁目町会	平成9年	関 義昭	3738-3435	10	男	C級1 D級1
宮本町会	昭和48年	坂本芳夫	3734-9237	11	男	C級1
仲六郷二丁目町会	昭和63年	清水清吉	3736-3997	15	男	C級1 D級1
仲六郷三丁目町会	昭和48年	加部伸吉	3735-4234	9	男	C級1 D級1
仲六郷四丁目町会	昭和51年	中島嵩雄	3738-4576	17(14 _男 3 _女)	男女	C級1 D級2
西六郷一丁目町会	昭和57年	川 義光	3732-5641	16(11 _男 5 _女)	男女	C級1 D級1



<注>●仲六郷一丁目町会と西六郷二丁目町会は、市民消防隊の新設につき大田区長に申請を検討中。
●高畑町会のミニポンプ隊は現在活動を休止している。
●なお各町会には、蒲田消防署・矢口消防署の指導のもとに、蒲田女性防火クラブ員・矢口女性防火部員がおり、主に防火PR活動を行っているが、消防隊と合同訓練をしているところもある。
●結成年は、大田区防災課の資料によって記載した。

☆一般火災の時☆

町会内で火災が起きた時、訓練でポンプを使用している場合をのぞき、消防隊には出動する義務はありません。しかし、隊員は自発的に火災現場に駆けつけ、消防隊の指揮本部に何名出場と申告。その指示により交通整理や、何人家族で逃げ遅れた者はいないか、近くに病人や寝たきり老人はいないか、といった情報の収集・伝達を手伝うことが望まれています。

☆日ごろの訓練☆

備えあれば憂いなし——消防隊は地域の防災訓練への参加は

六郷地区の

市民消防隊

万が一、大震災に襲われたとき、同時多発的な被害が発生するおそれがあります。それにすばやく対応するため、大田区では昭和48年度から自治会・町会を母体とする「防災市民組織」が結成されました。市民消防隊はその防火部門として、震災時における地域の初期消火と避難道路周辺の延焼防止に努めることを、第一の目的としています。

☆市民消防隊の構成☆

市民消防隊(以下「消防隊」と略す)・婦人中心のミニポンプ隊の責任者は、防災市民組織の本部長である自治会・町会長が務めます。

六郷地区における両隊の隊員数は別表のとおりです。

消防隊のポンプは、大田区から可搬式動力消防ポンプ(C級)が貸与されています。

またミニポンプ隊には、C級より小型で扱いやすいミニポンプ(D級)が支給されています。

ミニポンプは震災時に地域の防災拠点となる町会会館などを火災から守るのが目的です。

☆震災時の活動☆

震災時、消防隊員はいかに活動したらいいのか。次のようなマニュアルが示されています。

- ① 防災リーダーとして家族や隣近所の協力を得て、消火器やバケツリレーなどで初期消火につとめる。
- ② わが家の安全を確認したうえで、すばやくポンプ隊として出動、地域内の初期消火活動に対応する。

☆貯水槽の利用☆

六郷地区には約250m四方に1カ所の割合で貯水槽があるので、消防隊は原則としてその水を利用する。そのため1本の長さ20mのホースが12本、ミニポンプ隊には5本が支給されています。

③ 消防隊や消防団が火災現場に到着したら、その指示にしたがって行動する。

④ 必要に応じて負傷者の救出、応急救護の人工呼吸・心肺蘇生、住民の避難誘導にも携わる。

もとより、月1〜2回、蒲田消防団第六分団・矢口消防団第七分団の指導をうけ、いざというときのためにポンプ操法訓練にはげんでいます。

さらに今年から11月15日(午前9時開始)に、六郷地区合同の訓練成果発表会が、六郷水門近くの河川敷で行われることになりました。みなさんにもぜひ見学してもらいたいものです。

六郷橋の自転車 共用の新歩道橋 堤防上にできる

—本年度中に建設予定—



不便ないまの歩道橋



新歩道橋は堤防上に

昨春秋、新六郷橋のすべての工事は完了しましたが、歩いて渡る人や自転車利用者にはとても不便な構造になっています。とくに川崎方面へ行くために使わなければならない橋際の歩道橋(下流側)は、急勾配の階段になっていて、自転車は押し上げてのぼることもできません。また入口の取り付けもきわめて不自然で、自転車に乗ってき

た人が、どこから橋を渡ったかいいのか、とまどっている姿をよく見掛けます。この歩行者のみに限定された歩道橋は、地元に対して事前になんの説明もなく建設省が設けたもので、住民たちの不満は大きく、ぜひとも自転車共用の状態で改良してほしい、との声が盛り上がりました。これをうけて宮本町会の高橋会長が推進運

やすらぎの小径 その1

編集委員 高橋 ハルヨ

すっかり都市化した六郷地区にも、心やすらぐ緑の小径がのこっています。シリーズの第1回は、埋め立てられた旧六郷用水・五反田堀ぞいの道の探訪ガイド。

京浜国道ぞいの東六郷三丁目8-4に東豊エステートというマンションがある。その北側から建物をとりまくような道にはいると、突き当たりが六郷神社の幼稚園で、左側は六郷小学校。その裏門のところを右に曲がれば、両側に数えきれないほどの種類の木が茂っている。

この道は、入口に「六郷用水物語」の文字と矢印を浮き彫りにしたポールが立っているように、昔は五反田堀という流れにそっていた道で、あまり人通りもなく静かだ。

緑のトンネル

戦災をまぬかれた神社の裏手



六郷神社と六郷小学校の間の散策路

は昼なお暗い森だった。いまはそれほどでもないが、残されたケヤキ・クスノキ・イチョウ・マテバシイ・タブノキなどの大木が、どっしりとゆるがぬ姿で立っている。小学校側には若木が多いが、その種類はじつに豊富で、のびのびと育っている。サクラ・マツ・フジ・ツバキ・キリ・カエデ・スギ・ヒノキ・モミジ・シユロ、その他なんでもある。子供がこの学校に通っていた三十数年前は、こんなにたくさん木はなかった。

ここはちょうどプールの横らしく、水色に塗られた網塀の上から無数の枝が張りだし、神社側の太い枝と重なり合って、ま

るで緑のトンネルの中を歩いていような感じだ。ふと見上げると、神社側のツタが学校側の木にまで伸びてかままっている。

木々との対話

緑にかこまれているのは、なんと気持ちのいいもので、葉の重なりが薄いとところから、キラリと陽が洩れてきたりしたら、せちがらい浮世のわずらわしさなど忘れてしまいたい。木々の緑は、人の心をいやしてくれららしい。ここを「やすらぎの小径」と呼ぶことにしよう。木はそれぞれ独特の表情をもっているが、育ち方によっては、まるで違う木になったりする。

六郷の草たち ⑱

お月見の頃、白い穂を採っている人を見かけます。ススキに似ていますが、六郷の河原に生えているのは、水辺を好むオギです。



オギ (イネ科)

晩秋、ススキは薄茶色の「枯れ尾花」になりますが、オギは銀白色に光る美しさを見せ、大きな穂が風になびく風情は、万葉の歌にも詠まれています。かつては屋根をふく材料として使われた、生活に身近な草でした。(古屋のり子)

動の中心となり、仲四・仲三・東三・南三の隣接町会長もこれに賛同し、ことし3月、建設省の川崎国道工事事務所長に連名の要望書を提出しました。はじめのうち建設省側はあれこれ難色を示していましたが、須山連合会長などの応援を得て交渉をかさねるうち、地元の提案どおり、堤防上にゆるやかなスロープを付け、自転車も押しでのぼれるような歩道橋を、新たに設けることを承諾。8月27日、宮本会館において設計図の説明があり、本年度内には建設される運びとなりました。車社会に対応して架け替えられた新六郷橋は、これでやっと人と自転車にもやさしい橋になれるのではないのでしょうか。

お知らせ

雑色ポンプ所の建設を扱った前号が、東京都下水道局の局報『下水道』9月号に大きく取り上げられました。

たとえば学校側のネズミモチの木。普通この木は生け垣としてきれいに刈り込まれているが、ここはカエデとイチョウにはさまれて、どんどん上に伸び、空中高く黒い実をならせている。桑の木も同じで、大きな柔らかな葉を高々と風にそよがせているから、おもしろい。このやすらぎの小径を抜けると、六郷図書館が見える。出口近くで、珍しいユリノキを一本みつけた。学校の塀際である。この木を絆天木ともいうのは、葉の形が職人さんの着る絆太さくりに形をしているからだ。話しかけるように、そっと触れてみる。名残りを惜しみながら帰ろうとすると、濃い赤紫の小さな花が目に入った。花の終わったクサギの残り花だ。来年はクサギの咲いている頃にきつと来よう、と思った。